

市役所の仕事を体験

8月上旬、大宮中学校と山方中学校の2年生が、市役所で職場体験学習を行いました。

この体験は、生徒が職場での体験を通して勤労の尊さや喜びを知り、将来の目的意識を高めることを目的として毎年夏休みに行われているのです。

生徒たちは、企画課・市民協働課・介護高齢課・山方総合支所・大賀保育所・山方保育所に分かれ、市民と直接顔を合わせる仕事や炎天下での作業などを体験しました。



▲介護高齢課で介護認定審査会の資料作りを体験

一日広報マン  
直井くん

企画課情報・広報グループで広報紙作成の職場体験をしたのは、山方中学校の直井颯汰くん。

大賀保育所を訪ね、職場体験の様子をカメラで撮影し、原稿作成、パソコンでの編集作業を体験しました。



短い間でしたが、今回の職場体験は、自分自身を見つめ、自分の将来について考える機会となったようです。

また、8月4・5日には常陸大宮高等学校の2年生の職場体験（インターンシップ）も行われ、水道課・下水道課・歴史民俗資料館・緒川総合支所で市役所の仕事を体験しました。

この枠内は直井くんが取材・作成したものです

大賀保育所で職場体験

8月2日、大賀保育所で山方中学校2年生の中島くんが職場体験学習を行いました。

年長のクラスを担当した中島くんは、子どもたちの遊び相手をして一日を過ごしました。

「小さい子はちょっと苦手」と言っていました。とても子どもたちにかはかれている様子で、笑顔で接していました。



## 塩田地区でそばの種まき

塩田ふるさと協議会（大貫孝夫会長）は、良質な農産物を生産している塩田地区のPRと食べ物の大切さを多くの人に知ってもらうため「塩田そばの学校」の参加者を募集し、8月7日、そばの種まきを行いました。猛暑のなか、県内から39人が参加し、本格コースと体験コースに分かれ、地元農家の指導のもと、約25aの畑に「常陸秋そば」の種をまきました。秋にはそばの収穫を行います。



## 水生生物調査実施

8月18日、富岡橋上流の久慈川河川敷で水生生物調査が行われました。この催しは、市環境市民会議環境学習・広報部会が実施したもので、

市内の小学3年生以上の小学生など32人が参加しました。

調査は、茨城県環境アドバイザーの中村恵美子氏の指導のもと行われ、久慈川のきれいな水質を確認し川がきれいであることの重要性について学びました。

また、調査後は、アクアワールド大洗水族館でバッグヤードツアーに参加し、水族館の裏側から飼育状況を見学しました。



## 市民号

8月28日、市内の子どもたちを対象に水郡線を利用した「常陸大宮市民号」が実施され、141人の方が参加しました。

参加者は下小川・山方宿・野上原・玉川村・常陸大宮駅の5つの駅からそれぞれ乗車し、水戸駅へ向かい、

常磐線に乗り換えて目的地の上野動物園のある上野駅で降車しました。

市民号で水郡線を使ったスムーズな移動を体験し、普段使用することの少ない水郡線の利便性を体験することができました。



## 善意をありがとう

〈常陸大宮市へ〉



茨城県家庭婦人バレーボール連盟  
(穂積徳子会長)  
バレーボール用具一式

## 広報常陸大宮・ホームページ 掲載広告募集中！

広報紙 半枠(縦45mm×横 85mm): 9,000円/回  
全枠(縦45mm×横175mm): 18,000円/回

\* 詳しくはホームページをご覧くださいか、本庁企画課行政改革推進室(☎52-1111 内線323)までお問い合わせください。

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

操法大会開催

8月28日、第7回常陸大宮市消防ポンプ操法競技大会が、辰ノ口のおみや消防広場で開催されました。

この大会は、消防団員の消防用機械器具操作の技術の向上と士気高揚を目的として行われているもので、2部門で競技が行われ、ポンプ車操法の部では御前山地域の第16分団が、小型ポンプ操法の部では美和地域の

第11分団が優勝を飾りました。

なお、優勝分団は10月9日に高萩市で行われる県北区大会に市の代表として出場します。



▲第16分団



▲第11分団

大宮中学校校舎使用再開

東日本大震災により校舎が使えなくなった大宮中学校では、4月8日から、1、2年生は山方商業高校、3年生は常陸大宮高校で授業を行ってきました。

夏休み期間中学校舎等の補強工事を実施。8月末に引越しを終え、9月1日から、全学年大宮中学校の校舎で授業を行っています。



▲9月1日大宮中学校へ登校する生徒



市民の方からの まちのできごと

東日本大震災の教訓を生かして

御前山小おやし会  
会長 星野 輝美さん(野口地区在住)

7月30・31日の2日間、御前山青少年旅行村で、緊急事態を生き抜く力をつけるため「親子で楽しく防災(災害避難)体験学習」を実施しました。

参加した68人は、食用油を利用したの非常用ローソク作りやアルミ缶と牛乳パックでご飯を炊くサバイバル飯炊き(サバメシ)のほか、火起こしなどを行いました。

実践的な学習に真剣に取り組むなか、31日の明け方に、震度5の地震が発生しましたが、誰もが慌てず落ち着いた行動ができ、防災意識の高揚の成果だと実感しました。



▲紙パックを燃料にサバイバル飯炊き



▲火起こしにチャレンジ!

常陸大宮市の  
早期復興を願って

8月14日、山方地域の旧山方エコス周辺広場で、常陸大宮市チャリティーイベントが開催されました。

この催しは、東日本大震災で被害を受けた常陸大宮市の早期復興を願い、NPO元気・山方(菊池和博代表)が企画したものです。

会場では、まきもちや神輿渡御のほか、歌謡ショーやものまねが催され、イベントの収益金と来場者から集められた義援金は常陸大宮市に寄付されました。



▲たくさんの人が集まったまきもち



## SNSによるまちづくり

ネットショップ経営 倉田 稔之さん

インターネットの仕組みの1つ、SNS\* (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)をご存知でしょうか？

最近のエジプトやチュニジアの政変は別名フェイスブック革命ともいわれています。それは、フェイスブックやツイッターなどのSNSが、民衆の声を素早く広げたからです。



SNSの紹介例としてはちょっと物騒。日本ではこんな事にはなりません、実はSNSは常陸大宮市とも無縁ではありません。

最近フェイスブックやツイッターの中に、常陸大宮市民が少しずつ増えて来ています。東日本大震災ではツイッターが大活躍。電話が通じないなか、水や食料やガソリンの情報をお互いに融通して共有しました。

ネットは便利な道具。その新しい道具を使った新しいスタイルの市民交流から、次の新しいまちづくりが生まれる予感がしています。

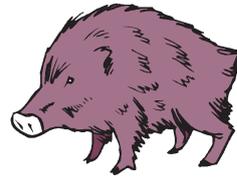
※人と人とのつながり促進・サポートするためのインターネットWEBサイト。フェイスブックやツイッターなどが有名。

## 有害鳥獣捕獲実施

市内全域で、農作物の被害防止対策として行っている平成23年度第1回目の有害鳥獣の捕獲が、5月8日から6月30日まで、有害鳥獣捕獲隊(河西敏夫隊長)50人により、実施されました。

捕獲結果は下表のとおりです。

| 種類    | 地域 | 大宮 | 山方 | 美和 | 緒川 | 御前山 | 合計 |
|-------|----|----|----|----|----|-----|----|
| イノシシ  |    | 9  | 5  | 3  | 6  | 5   | 28 |
| ハクビシン |    | 2  | 0  | 0  | 1  | 1   | 4  |
| カラス   |    | 13 | 11 | 4  | 1  | 0   | 29 |
| カルガモ  |    | 23 | 31 | 13 | 6  | 9   | 82 |
| タヌキ   |    | 0  | 0  | 1  | 1  | 0   | 2  |
| カワウ   |    | 2  | 2  | 1  | 1  | 0   | 6  |



## 知って得する 消費者情報⑳

## 楽しくて通い詰め・・・健康食品に2,000万円!

健康に対する興味を利用して、高額な健康食品を現金や金券で販売する悪質な商法の情報提供が国民生活センターよりありました。注意しましょう。

### 〈事例〉

隣人に誘われ、健康の話をしてくれる期間限定の健康食品の店へ行った。そこで友だちもでき、楽しくて毎日のように通っていた。店長も優しく孫のようにかわいかったので、店長のためと思い健康食品を買い続けたが、「金券の方が得だから」と勧められ金券に切り替えた。これまで現金と金券を合わせて2,000万円分ほど購入した。

### ポイント

空き店舗などを短期間の会場として使い、講習会などと称して人を集め、健康に関する情報提供をしながらサロンのような雰囲気を作り、最終的に高額な健康食品などを契約させる手口です。

一度通い始めると、店の楽しい雰囲気に夢中になったり、店員と親しくなったりして通い詰め、気づいたら大金をつぎ込んでいたということが少なくありません。「無料」「格安」などと勧誘されたり、知り合いに誘われたりしても、出向かないようにしましょう。

特典がつくからと大量に金券や商品券のまとめ買いを勧められ、後から現金に戻すように申し出てお応じしてくれない、という相談もあります。金券などのまとめ買いは避けましょう。

困った時は消費生活センターにご相談ください。

■茨城県消費生活センター ☎029-225-6445

■常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185 (直通) (本庁商工観光課内)